

[参考資料・リリース日本語訳]

2001年10月15日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス、2001年1-9月期も好業績を維持 11%増（スイスフランベース）で、237億スイスフラン（約1兆6,590億円）を達成

- 医薬品の売り上げは現地通貨ベースで15%増で、この状態で推移すると年間ベースで2桁成長の見込み
- 米国での売り上げは引き続き拡大：グループ全体で19%増、医薬品セクターでは25%増
- プライマリーケア事業、がん領域事業および眼科領域事業における主力製品へのフォーカスと新製品の上市が成長を牽引
- このペースで推移すれば、グループ全体の年間営業利益および純利益は、昨年を上回る見込み

継続するビジネス・セクター別 1-9月売り上げ

	2001年		2000年	前年比		
	百万 スイスフラン	億円 ²	百万 スイスフラン	百万 スイスフラン	スイスフラン建 (%)	現地通貨建 (%)
医薬品	14 896	10 427	13 295 ¹	1 601	12	15
ジェネリック	1 757	1 230	1 485 ¹	272	18	20
コンシューマーヘルス	4 950	3 465	4 769 ¹	181	4	5
チバビジョン	1 366	956	961 ¹	405	42	46
アニマルヘルス	715	501	789	-74	-9	-6
グループ全体売り上げ	23 684	16 579	21 299	2 385	11	13

換算レート： 2001年 1スイスフラン = 70円
2000年 1スイスフラン = 65円

1. 2001年1月1日現在での、眼科領域事業のチバビジョンから医薬品セクターへの移転、および一部の製品のセクター間の移動を反映させた。
2. 本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に2001年は70円、2000年は65円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。

パーゼル発 2001年10月11日 2001年の1-9月期、ノバルティス グループ全体の売り上げは237億スイスフラン（約1兆6,590億円）で、スイスフランベースで11%、現地通貨ベースで13%の伸びを示しました。第3四半期の好業績（スイスフランベースで12%増）の原動力となったのは、医薬品セクターへの戦略的なフォーカスであり、これにより再び2桁成長を実現しました。特に米国では、第3四半期の成長はさらに拍車がかかり、現地通貨ベースでグループ全体で26%増、医薬品セクターで31%増となり、1-9月期の売り上げをグループで19%増、医薬品セクター

で25%増と押し上げました。

ノバルティスの会長兼最高経営責任者のダニエル・バセラは、次のように述べています。「ノバルティスの継続的な成長の勢いは、米国でのめざましい好業績によるもので、特にプライマリーケア事業とがん領域事業での成功がその牽引力となりました。経済的・政治的に極めて厳しい状況にあるにもかかわらず、2001年度の目標の達成に向けて着実に進みつつあります」

医薬品

医薬品セクターは、米国でのビジネスとプライマリーケア事業およびがん領域事業のダイナミックな売り上げの伸びで、グループ全体として15%増という2桁の堅実な売り上げ成長を実現しました。米国での売り上げが25%増という大幅な成長を達成できたのは、強力な主要ブランドと新製品上市を強化すべく、マーケティングならびに営業に対する投資を増加し、集中した結果です。

数多くの新製品が第3四半期中に承認されました。なかでも注目すべきは、悪性腫瘍による高カルシウム血症治療薬「ゾメタ」の米国ならびにEUでの承認、慢性閉塞性肺疾患治療薬「フォラジール」の米国での承認、ピスダインの病的近視への米国での適応拡大でした。これらにより、1-9月期における主要市場での新製品承認は10となりました。このうち実に4製品が、米国あるいはEUの主要市場ではじめて承認となりました（米国で「フォラジール」と「グリベック」、EUで「スターリクス」、米国およびEUで「ゾメタ」が承認）。

プライマリーケア事業

「ディオバン」と「ロトレル」は、米国の高血圧症治療薬のトップテン製品の中で、引き続き最も急速な成長を遂げており、ノバルティスは循環器領域のフランチャイズを拡大しています。

高血圧症治療薬「ディオバン」（58%増、米国で44%増）は計画どおり、米国におけるこのカテゴリーで引き続きトップの地位を確保しています。ディオバングループは、アンジオテンシン受容体拮抗薬カテゴリーの新規処方薬におけるリーダー的地位をはじめて獲得しました。また欧州では、48%も売上増を達成しました。

「ロトレル」（米国で55%増）は強力な成長を維持し、米国でのアムロジピンカテゴリーの新規処方薬におけるシェアを21.4%に拡大しました。

高コレステロール血症治療薬「レスコール」（9%増、米国で9%増）はバイコールの販売中止後、その安全性の高い製品プロフィールが医師から評価され、循環器領域のフランチャイズ強化の原動力となりました。また、徐放製剤「レスコールXL」は、このブランドの業績をさらに飛躍的に成長させる基盤となるでしょう。

型糖尿病治療薬「スターリクス」（5,500万スイスフラン、約39億円）の第3四半期の売り上げは、型糖尿病治療への新しいアプローチとしての認識が高まるにつれ、微増しました。これまでで最大の糖尿病予防の治験“Navigator”が9月から始まり、「ディオバン」と「スターリクス」の型糖尿病および循環器疾患の予防における潜在的な可能性が評価されることとなります。

抗真菌薬「ラミシール」（19%増、米国で21%増）は、米国におけるDTC（ダイレクト・ツー・コンシューマー）の継続的な実施によって売り上げが支えられ、すでに減少傾向にあるこのカテゴリーにおいてシェアを拡大しました。この市場でのラミシールの力強い好業績は、競合品と比較して優れたリスク/ベネフィットのプロフィールによるものです。

アルツハイマー病治療薬「エクセロン」(154%増、米国で307%増)は、この高成長市場において激化する競合に対抗するために、マーケティングおよび営業のリソースを集中的に増大したことによって、3億1,200万スイスフラン(約218億円)の売り上げを達成しました。

てんかん治療薬「トリレプタール」(90%増、米国で150%増)は、これまでで最も成功した抗けいれん薬としての米国におけるダイナミックな上市によって、1億7,000万スイスフラン(約119億円)の売り上げを記録しました。また欧州では、相互認証手順の完了によって、内用懸濁液が上市される予定です。

作用の発現が速く、効果が長く持続するぜん息治療薬の「フォラジール」(17%増)は、ドイツやフランスなど、欧州の主要な市場で堅実に成長しました。また、米国でのぜん息治療薬としての上市が貢献しました。またこの製品は、FDAが今年承認した2番目の医薬品として、慢性閉塞性肺疾患の適応についても米国市場で承認を獲得しました。

ノバルティスの過敏性腸症候群(IBS)の新しい治療薬「ゼルマック」はメキシコ、ベネズエラ、チェコ共和国で上市され、その他数カ国で承認されました。ノバルティスはまた、安全で有効な治療を必要としているすべてのIBS患者にこの薬剤を提供できるよう、米国および欧州の行政当局とともにその実現に向けて取り組んでいます。

湿疹治療薬「エリデール」およびぜん息治療薬「ゾレア」に関する新しい臨床データが、多くの国際学会で発表されました。ノバルティスは現在、「ゾレア」の新しく追加された前臨床試験および臨床試験データについてFDAと話し合いを行っています。また、「iloperidone”については、精神分裂病治療薬としてのプロフィールをさらに強化するための追加試験が計画されています。

がん領域事業

新薬の上市により、がん領域における売り上げは前年同期比27%増を記録しました。

慢性骨髄性白血病の新しい治療薬「グリベック」は、すでに30カ国以上で承認されました。最初の主要市場での上市後半年もたたないうちに、期待を上回る1億4,000万スイスフラン(約98億円)の売り上げを達成しました。また、その他のがん治療薬としての可能性を探るための試験が実施されており、手術ができない消化管間質性腫瘍に対しては、すでにこれまでにない治療効果を発揮しているとの報告がなされています。

「アレディア」の後継薬として、より高い効果が期待されている「ゾメタ」は8月下旬に米国で承認され、これで承認を取得した国は40カ国以上となりました。「ゾメタ」の主な適応症は悪性腫瘍による高カルシウム血症で、ノバルティスは広範囲な腫瘍タイプにわたって、がんによっておこる骨に関連する疾患の治療薬としての適応承認を取得すべく、精力的に活動しています。第3四半期には、米国とEUで骨転移の適応拡大が申請されました。

閉経後の進行性乳がんの第1選択治療薬「フェマラ」の売り上げは、68%増(米国では160%増)を記録しました。このカテゴリーではタモキシフェンよりもはるかに優れていることが実証されているため、米国での市場シェアは堅調に増大し、現在ではフランス、スペイン、ベルギー、メキシコ、スイスおよびオーストラリアで同カテゴリーでのリーダー的地位を獲得しています。

末端肥大症治療薬「サンドスタチン」(30%増)は、1ヵ月1回投与で長期的に効果を持続するLAR製剤の成功により、市場への浸透を続けています。

眼科領域事業

滲出型加齢黄斑変性症治療薬「ビスダイン」（168%増、米国で153%増）は、米国および欧州における適応拡大（病的近視）および一部の保険払い戻し状況の改善などもあって、売り上げは2億7,600万スイスフラン（約193億円）を上回りました。さらに、米国では、眼ヒストプラズマ症治療薬として承認されました。9月にはEU、カナダ、オーストラリアで中心窩脈絡膜新生血管に対する承認申請が行われました。また7月には、ノバルティスはQLT社との提携関係をさらに拡大して、ビスダインの非メラノーマ皮膚がんへの適応拡大の可能性について研究を行うことを決定しました。

移植・免疫領域事業

免疫抑制剤のスタンダードである「サンディミュン/ネオオーラル」の売り上げは、主として米国（21%減）におけるジェネリックとの競合の激化により、8%減となりました。米国での売上減は、拒絶反応の抑制に必須の他の免疫抑制剤と比較しても概ね同様の傾向を示しています。一方、日本における「サンディミュン/ネオオーラル」の売り上げの2%増は、ジェネリックとの競合による影響の一部相殺に貢献しました。「ネオオーラル」を補完し、その臨床効果を最適化する目的で開発された「シムレクト」はさらに市場に浸透し、その売り上げを15%伸ばしました。

マチュアプロダクト事業

マチュアプロダクトの中で、鎮痛・抗炎症剤「ボルタレン」（10%減）は、特に新世代のCOX-2阻害剤と米国（61%減）におけるジェネリックとの競合に直面しています。しかし、米国での「ボルタレン」の売り上げは、「ボルタレン」全体の売り上げのわずか3%にすぎません。全般的にみて、その売上減は1-6月の上半期と同様に比較的小さく推移しています。

ジェネリック

新製品の上市と最近の買収が売上増の18%に貢献し、ジェネリックセクター全体で20%の売上増を記録しました。

産業向けジェネリック事業は、「ペニシリン」と「マクロライド系抗生物質」の売上増と、「セファロsporin」の堅実な業績により、引き続き売り上げを伸ばしました。

主要な米国市場での小売り事業およびジェネリック医薬品事業の売り上げの増加は、ジュネーブ製薬が10ミリグラムカプセル製剤の独占権を6ヵ月間有する「フルオキセチン（プロザックのジェネリック）」の上市が後押ししました。

欧州はスペインと東ヨーロッパでの好業績の継続と新製品の上市、さらにフランス、イタリア、ベルギーなど新たに進出した市場の開拓が成功裏に行われたことが業績を支えています。

コンシューマーヘルス

コンシューマーヘルス（5%増）では、一般薬（OTC薬）の売り上げが5%増で、主要製品である抗真菌薬「ラミシール クリーム」、禁煙補助剤「ニコチネル/ハビトロール」、小児用風邪薬「トリアミニック」、局所性鎮痛・抗炎症薬「ボルタレン エマルゲル」などが牽引力となりました。英国、イタリア、スカンジナビア諸国の好業績によって、欧州のOTC薬市場でのリーダー的地位を維持しています。

医療用栄養食品（10%増）の売り上げは、すべての地域で増加しました。特に好調なのは米国

で、チューブ食事業の急成長と、傷手当製品や嚥下障害（のみ下しの困難）の患者向け製品事業の継続的な成長が原動力となりました。

健康・機能性栄養食品事業での売り上げは3%増で、フランスと英国での第3四半期の堅調な業績が、ポーランドのジュース事業の低迷を補いました。ガーバー事業では、米国の乳幼児用食品市場におけるマーケットシェアの新しい記録を樹立し、また、「ガーバーケア」と「ガーバーウェルネス」ブランドにおいても、競合の激しい市場で引き続きそのシェアを拡大しました。

チバビジョン

チバビジョン（46%増）は第3四半期、1-9月期とも好業績を達成しました。貢献したのはウェスリージェッセン社の買収で、現地通貨ベースで1-9月期の売上増の42%を占めました。北アメリカ市場は低迷しましたが、その他地域の好調で相殺されました。

コンタクトレンズ事業、特に、ディスポーザブルレンズ事業は好調に売り上げを伸ばしました。とりわけ欧州とアジアで、「フォーカスデイリーズ（1日使い捨てレンズ）」、「フォーカス・ナイト&デイ（30日連続装用レンズ）」などの製品が売り上げを牽引しました。「フォーカス・ナイト&デイ」は、7月に米国で承認の勧告が出ました。

サージカルレンズ事業はメモリーレンズの再上市の成功により、優れた売り上げの増加を達成しました。

レンズケア部門は市場が低迷しているにもかかわらず、第3四半期業績は上昇傾向を示しました。これには主として、世界初の防腐剤を一切含まない、こすり洗いの必要がない、ワンボトルレンズケア消毒システムの「AOSEPT Clear Care / AOSEPT Plus」の上市が貢献しています。また、「ソロケア マルチパーパス・ソリューション」の改良型が多くの国で上市されました。

アニマルヘルス

アニマルヘルス（6%減）では、米国の不景気と英国の口蹄疫流行の影響が依然として尾をひいています。

畜産事業は、アジア太平洋地域とラテンアメリカ地域での好調な成長気運の恩恵を受けました。豚の呼吸器および消化器疾患用医薬品の「チアムリン」の売り上げは伸び、最近買収したワクチン事業も大変好調です。コンパニオンアニマル事業は、ノミ駆除分野において引き続き厳しい競合と戦わなければなりません。この分野の落ちこみは、犬の心臓病治療薬「フォルテコール」が、腎臓病への適応を追加したことで好業績を収めたため、部分的に相殺されました。新しい、速効性のノミ駆除薬「キャプスター」が英国で上市され、売上増に貢献することが期待されています。

将来の展望

ノバルティス グループとしては、医薬品セクターの本年度の売り上げは主力ブランドの成長、新製品の上市、地域的拡大と適応拡大の取得などのプラス要因により、2桁成長を期待しています。

先に発表した通り、医薬品セクターにおける営業利益額の増加は期待されます。一方、営業利益率は、新製品上市や主要成長製品のプロモーション費用などの投資活動を継続するため、2%程度減少するものと考えられます。

他のセクターは1-9月期の業績と同水準で推移するものと予想されます。

資産の効果的な配分、適切なヘッジの判断、かつ1-9月の好調な業績により、通年の純財務利益は昨年と同水準に達すると予想されます。

予想し難い要因を除けば、グループ全体の通年の営業利益額および純利益額は、現在のペースで推移すれば昨年の水準を越えるものと予想されます。

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照ください。

ノバルティスは、医薬品、コンシューマーヘルス、ジェネリック、アイケア、動物薬を事業の柱とする、ヘルスケアにおける世界的リーダーで、ニューヨーク証券取引所に上場しています。ノバルティスグループの継続する事業の2000年度の売り上げは291億スイフラン（約1兆8,600億円）、研究開発には約40億スイフラン（2,600億円）を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約70,000人の社員を擁し、世界140カ国以上で事業を行っています。

詳細は、<http://www.novartis.com>をご覧ください。

1-9月期地域別売り上げ

	米国					その他の地域				
	2001年 百万スイ フラン	2001年 億円 ²	2000年 百万スイ フラン	前年比		2001年 百万スイ フラン	2001年 億円 ²	2000年 百万スイ フラン	前年比	
				百万スイ フラン	現地通 貨建 (%)				百万スイ フラン	現地通 貨建 (%)
医薬品	6 362	4 453	4 994	1 368	25	8 534	5 974	8 301	233	8
ジェネリック	559	391	449	110	23	1 198	839	1 036	162	19
コンシューマーヘルス	2 382	1 667	2 274	108	3	2 568	1 798	2 495	73	6
チバビジョン	591	414	375	216	55	775	543	586	189	40
アニマルヘルス	227	159	271	-44	-17	488	342	518	-30	0
グループ全体売り上げ	10 121	7 085	8 363	1 758	19	13 563	9 494	12 936	627	10

継続する事業の第3四半期売り上げ

	2001年		2000年	前年比		
	百万スイフラン	億円 ²	百万スイフラン	百万スイフラン	スイフラン建 (%)	現地通貨建 (%)
医薬品	5 207	3 645	4 626 ¹	581	13	17
ジェネリック	636	445	473 ¹	163	34	38
コンシューマーヘルス	1 667	1 167	1 612 ¹	55	3	6
チバビジョン	485	340	343 ¹	142	41	48
アニマルヘルス	225	158	275	-50	-18	-13
合計	8 220	5 754	7 329	891	12	16

換算レート： 2001年 1スイフラン = 70円
2000年 1スイフラン = 65円

- 2001年1月1日現在での、眼科領域事業のチバビジョンから医薬品セクターへの移転、および一部の製品のセクター間の移動を反映させた。
- 日本円表示の金額は、すべて便宜的に2001年は70円、2000年は65円の為替レートでスイフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。

トップ20医薬品売り上げ

	米国での2001年1-9月期売り上げ			その他の地域での 2001年1-9月期売り上げ			グループ全体の2001年1-9月期売り上げ			
	百万 スイフラン	億円 ²	前年比 現地通貨建 (%)	百万 スイフラン	億円 ²	前年比 現地通貨建 (%)	百万 スイフラン	億円 ²	前年比 スイフラン 建(%)	現地通貨建 (%)
サンディムン/ネオール	405	284	-21	982	687	-3	1387	971	-11	-8
ディオバン/コディオバン	667	467	44	660	462	75	1327	929	56	58
チバセン/ロテンシン	974	682	36	159	111	-7	1133	793	29	27
そのうちのロトル	589	412	55	na	Na	na	589	412	57	55
ラミンール	562	393	21	506	354	16	1068	748	16	19
アルディア	647	453	23	343	240	20	990	693	21	22
ホルタレン	21	15	-61	781	547	-7	802	561	-16	-10
サントスタチン(グループ)	264	185	47	354	248	21	618	433	28	30
レスコール	267	187	9	300	210	10	567	397	7	9
ミアカルシック	352	246	-1	195	137	9	547	383	3	3
テグレート	195	137	13	312	218	-4	507	355	-1	2
レボネックス/クロザリル	174	122	-23	228	160	3	402	281	-11	-10
エストラタム(グループ)	166	116	30	198	139	-7	364	255	5	6
エクセロン	173	121	307	139	97	77	312	218	152	154
フォレンジール	7	5	na	276	193	15	283	198	15	17
ビスタイン	177	124	153	99	69	198	276	193	168	168
ファミビル(グループ)	188	132	na	82	57	na	270	189	na	na
ニトログラムTTS	0	0	-90	238	167	-3	238	167	-11	-5
ザジテン	na	Na	na	200	140	-7	200	140	-15	-7
トリプロタル	115	81	150	55	39	29	170	119	90	90
パロフェル	54	38	158	115	81	-11	169	118	5	10
トップ10合計	4 354	3 048	18	4 592	3 214	10	8 946	6 262	11	13
トップ20合計	5 408	3 786	28	6 222	4 355	11	11 630	8 141	16	18
その他製品合計	954	668	8	2 312	1 618	3	3 266	2 286	1	4
全製品の合計	6 362	4453	25	8 534	5 974	8	14 896	10 427	12	15

換算レート： 2001年 1スイフラン = 70円
2000年 1スイフラン = 65円